

題 言

都 市 美 と 公 園

帝都復興工事に有終の美を齎したものは大小五十五ヶ所の公園である。これ等公園は單に都市美化の點に於て有要なるのみならず、矢り行く市民の神經を和けるには何よりの施設である。

横濱市に於ても新に復興事業として三大公園が完成された、之を以て横濱市民は比較的多くの公園に恵まれたわけである。

東京市内としては公園の數は今後尙ほ増加の必要を感じるであらう、理想としては小學校のある處に必ず一の公園を併置する必要がある。本號は此意味に於て新設小公園の平面實例を誌面の許す限り掲載する事にした。以て公設事業の参考に資すものである。

高架鐵道と地下鐵道の特殊工事

兩國御茶ノ水間省線連絡工事は、帝都の中心地帯を行くもので、衆目環視の中に愈々明快な工事が進められる事となつた。本工事は今漸く隅田川を横斷する架橋工事に基礎に着手されたのみであるが續いて起工される陸上高架混凝土橋は基礎工事と混凝土工事とに關する各調査委員會を設け、現場の事情に最も適合せる合理的工法が決定されたものである。

東京地下鐵道會社の工事は目下第三期工事眞最中であるが、地表面に見られないだけに、良い參考となる様な工事も専門家にすら兎角見逃されてゐる。本號に掲載せるものは其等の一部を示すものであるが、最近英國の某技術雜誌に於ても、此等工法に注意を拂ひ、其工事狀況の寄稿を希望したものである。